

# 【テーマ】

## 「DXを全学で展開するには？」

～理想と現実、ギャップをどう埋めていくか皆で考えよう～

### 【主催】次世代情報システム検討分科会

### 活動報告

日時：2022年2月22日（火） 15:00 -17:00

場所：オンライン分科会

出席者：81名

#### 1. 研究内容

次世代情報システム検討分科会では、「DXを全学で展開するには？」をテーマとして今年度第3回目となるオンライン分科会を開催しました。

前半は、近畿大学経営戦略本部デジタル戦略室の前川様より「近畿大学におけるデジタル化・DXの推進について」と題し、デジタル戦略室設置の背景、デジタル人材確保の戦略や学内ICT化推進に向けた体制構築などについてご講演をいただきました。

後半は、グループにわかれての意見交換会です。あらたな試みとして今まで以上にコミュニケーション促進を図ることを目的に、オンラインホワイトボードツール「Webホワイトボード」を意見交換会で使ってみました。活発なディスカッションを通して参加者の皆さまと開催テーマに関するの深掘りや課題の共有など有意義な意見交換会となりました。

#### 2. スケジュール

15:00 分科会開始

15:05 <ご紹介>

タイトル「近畿大学におけるデジタル化・DXの推進について」

近畿大学

経営戦略本部 デジタル戦略室

技術課長補佐 前川 昌則 様

15:45 休憩(10分)

15:55 <意見交換>

前半の事例紹介の内容を踏まえ、参加者の大学の理想と現実を共有し、ギャップをどう埋めていけばいいのかディスカッションを行いました。

17:00 分科会終了

### 3. 参加校 [25校33名] ・参加企業[7社48名] ・参加総数[81名]

愛知大学 [2] 追手門学院大学 [2] 大阪経済大学 [1] 大阪工業大学 [1] 大阪電気通信大学 [1] 学校法人常翔学園 [1] 金沢大学 [1] 関西国際大学 [3] 九州産業大学 [1] 京都芸術大学 [1] 京都産業大学 [1] 共立女子大学 [2] 近畿大学 [1]	神戸学院大学 [1] 摂南大学 [1] 専修大学 [2] 中部大学 [1] 中央大学 [2] 東京家政大学 [1] 東京都市大学 [1] 文京学院大学 [2] 武蔵野大学 [1] 名城大学 [1] 立教大学 [1] 流通科学大学 [1]	株式会社内田洋行 [1] 株式会社セールスフォース・ドットコム [1] 電子システム株式会社 [2] 東通産業株式会社 [3] トレンドマイクロ株式会社 [1] 富士電機ITソリューション株式会社 [2] 富士通Japan株式会社 [38]
---	---	--

### 4. 所感（次世代情報システム検討分科会運営委員会）

今年度は、第1回目に富士通総研と文部科学省からの講演をもとにDXの基礎知識を深め、第2回目に文部科学省のPlus-DXに採択された3校の大学様による事例紹介からDX推進の勘所について学んだ。これらを踏まえ、今回の第3回目は、各大学でDXを展開していく際に課題となる理想と現実のギャップをいかに埋めていくのかを近畿大学様のご講演を拝聴し、参加者間で意見交換を行った。近畿大学様からは、デジタル人材確保の戦略として技術職の採用や経営戦略と連動した守りと攻めのIT戦略、学内のDX化推進に向けた組織体制の構築など具体的な学内の事例を交えながらご講演をいただいた。ご講演への関心の高さから81名と多くの方に分科会にご参加をいただき、講演後のアンケート評価では満足、大変満足を含めると100%の方に満足をいただける内容となった。意見交換会では複数のグループに分かれ、各大学の理想と現実を共有し、As-Is/To-Be分析によりギャップを洗い出し、課題解決のアクションを模索した。今回はオンラインでのコミュニケーションを促進するため、オンラインホワイトボードツールを試行的に用いた。ファシリテータが参加者の意見を均一に取り上げるには便利なツールであったが、意見交換会に対するアンケート結果からは課題の深堀ができなかったなど満足以上の評価が35.3%と低く、実施方法に課題が残った。本分科会の今年度の活動はこれで最後となる。次年度は、未来の大学像を見据えた最新のICT技術や国内外の動向、教育の未来を視野に入れたテーマを予定している。

#### 【分科会の様子】



#### 【事務局より】

次頁以降に開催後アンケート結果（抜粋版）を記載しています。  
開催後のアンケート結果詳細版や当日プレゼン資料ご覧になりたい方は、「[CS研・IS研情報交換サイト](#)」に掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

#### 「CS研・IS研情報交換サイト」について

○CS研・IS研の会員向けに情報・資料をご提供し、会員の皆様で情報交換をする会員専用のサイトです。  
（新規入会ご希望の方は、右下の事務局まで、お手数ではありますがご連絡ください。）  
URL：<https://www-std01.ufinity.jp/csiken/>

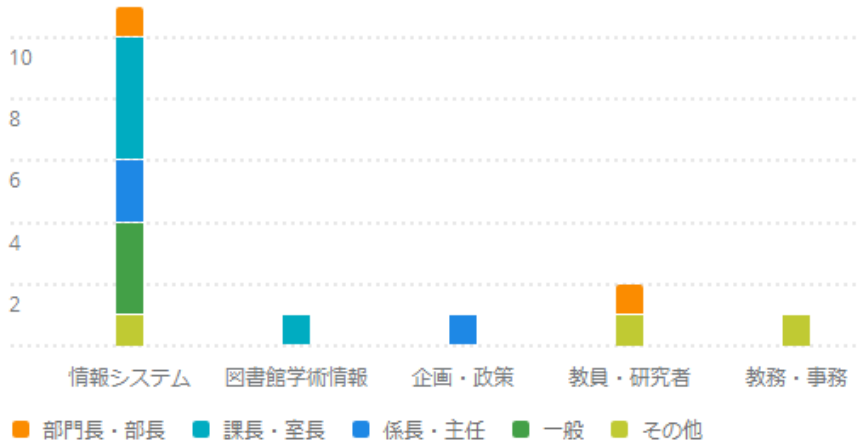
○情報交換サイトをご覧になるにはIDとパスワードが必要となります。お持ちでない場合は以下のサイトにてお申込みください。  
お申込みサイト：<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/46757>

#### 【連絡先】

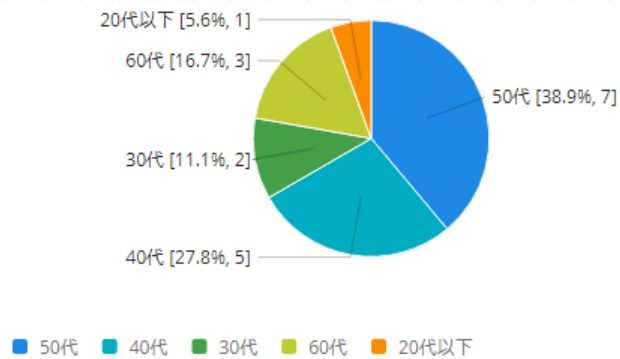
私立大学キャンパスシステム研究会 事務局  
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター  
富士通Japan株式会社 デマンド創出・カスタマリレーション部内  
E-mail：[fj-csken-secretary@dl.jp.fujitsu.com](mailto:fj-csken-secretary@dl.jp.fujitsu.com)

開催後アンケート結果 【回答数／対象者数：18／33（大学関係者のみ）】

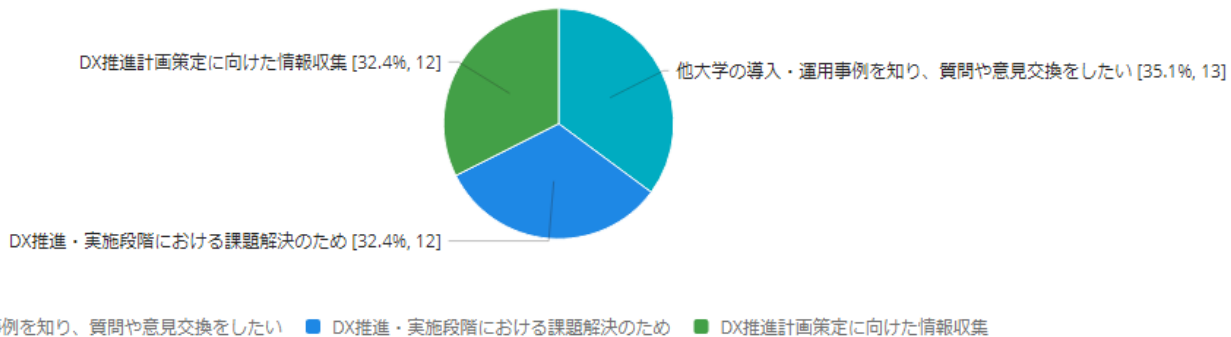
■ 担当業務と役職について



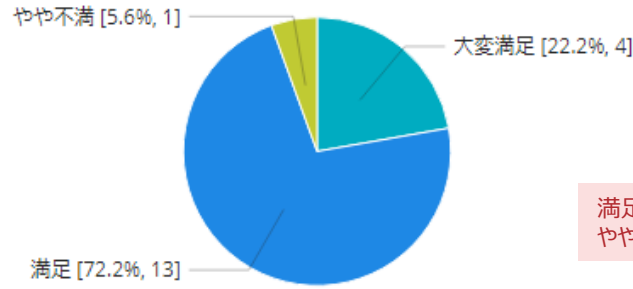
■ 参加者の年齢層について



■ 参加した目的について



## ■本日の分科会の全体満足度



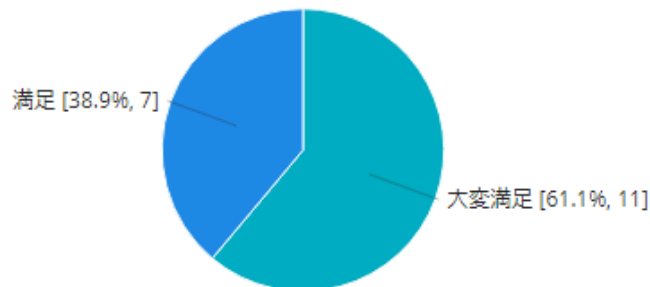
満足以上 : 94.4%  
やや不満以下 : 5.6%

■ 大変満足 ■ 満足 ■ やや不満

## ■全体満足度の評価理由について

- 先近畿大学の事例を知ることが出来たため
- 近畿大学様の事例を聞いたこと
- 近畿大学の前川様の事例紹介がよかったです。
- 他大学が抱える課題や事例を共有することで自大学の課題解決につながることもあるため。
- 「DXの全学展開」というテーマであったが、時間不足で十分に掘り下げることができなかった。
- 近畿大学様の講演では、技術者を中途採用する際のポイントを、具体的な統計も示していただきながら説明いただき大変参考になりました。
- 近畿大学様の発表が非常に優れていたため。
- 近畿大学様の事例や方針を直接担当者から聞け、参考となったため
- まったく考えていなかったDXの型があることに気づくことができた。
- 数年ぶりのCS研参加で、他大学の事例などを伺わせていただきましたが、蓄積がないため今回1回の参加では、方針なり方向性を考える参考になるほどの情報量足り得なかった。今後続けて参加して、事例、知識を溜めさせていただこうと思います。
- DX推進のスピリットの実装がよく分かった

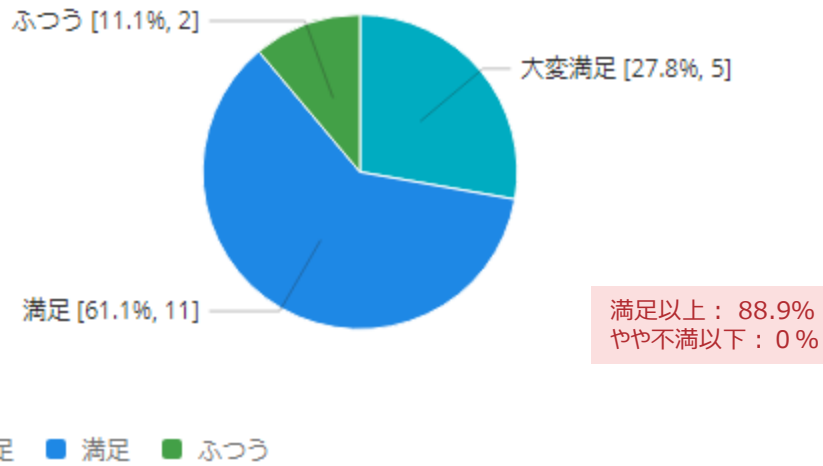
## ■近畿大学様講演について



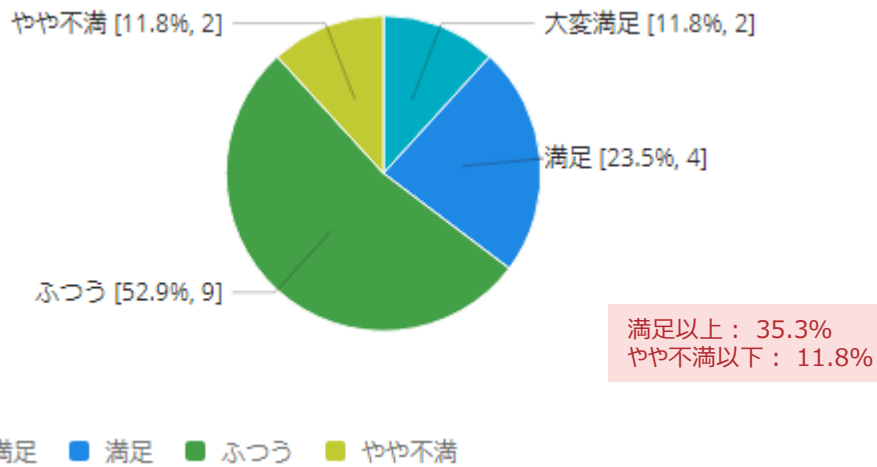
満足以上 : 100%

■ 大変満足 ■ 満足

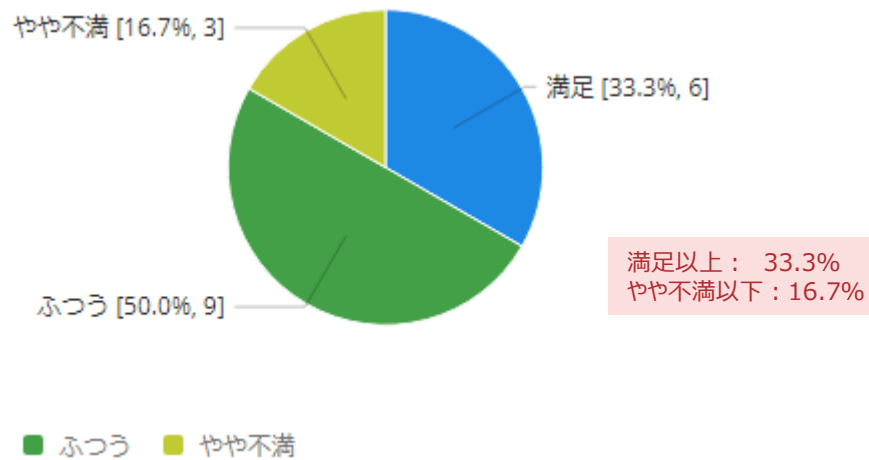
■開催テーマの満足度について



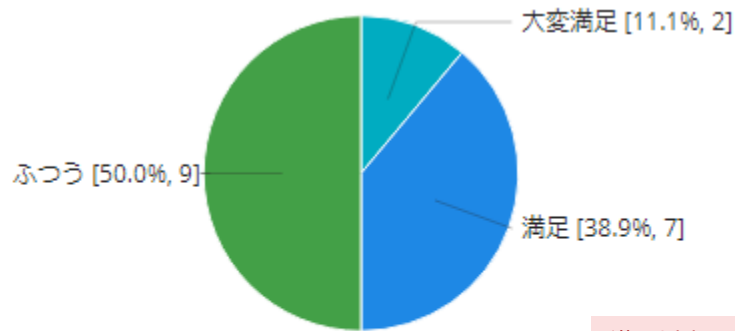
■意見交換の満足度について



■時間配分の満足度について



## ■当日運営の満足度について



満足以上：50%  
やや不満以下：0%

■ 大変満足 ■ 満足 ■ ふつう

■ CS研の来年度活動テーマは、本年同様に『キャンパス×デジタルトランスフォーメーション ～持続可能な大学を考える～』です。来年度活動において実施してほしいイベント等について（一部省略・抜粋）

➤ 業務改善は、他の大学も色々と分かる事から、DXの教育への活用事例とその活用も入れ、今後の教育への活用に関するの発表があると非常に有益になるかと考えます。

■ CS研について、「こういう風になると良い」「もう少しここをこうして欲しい」等のご意見ご要望について（一部省略）

➤ コロナ禍で対面でのコミュニケーションが難しい中、オンラインでイベントを開催いただき、運営委員、事務局の皆様には感謝申し上げます。